

医療法人 平和会 診療案内

吉田病院 (一般外来) 受付時間 午前8:30~11:45 午後13:30~15:30 夜間17:00~19:30

午前診療	内科(予約外)	○	○	○	○	○	○
	内科(完全予約)	○	○	○	○	○	○※1
	整形外科(予約制)		○				○※2
	外科・大腸肛門科	○	○	○	○	○	○
午後診療	泌尿器科(予約制)		○	○	○	○	○
	健診	○	○	○	○	○	○
夜診	内科(完全予約)		○	○	○	○	○
	整形外科(予約制)		○	○			○

※1 ※2 土曜の内科と整形外科(いずれも完全予約)は5週目はありません。
※3 火曜の夜診は1・3週のみ。消化器内科の診察と胃カメラ検査。

〈眼科外来〉受付時間 午前8:40~11:45

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○(1・3週のみ)
午後(検査予約)						

〈精神神経科外来〉受付時間 午前8:30~11:45

	月	火	水	木	金	土
午前(予約制)	○	○	○	○	○	○
午後(予約制)	○	○	○	○	○	○

☎631-0818 奈良市西大寺赤田町1丁目7-1 ☎0742(45)4601

へいわ鍼灸院 施術時間 午前9:00~12:00 午後13:00~16:30
夜間17:00~19:30 ※すべて完全予約制です

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	○

☎631-0818 奈良市西大寺赤田町1-4-6 ☎0742(49)9981

あやめ池診療所 受付時間 午前8:30~11:45 夜間17:00~19:15

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後					(精神)	
夜診		○			○(内科・精神科)	

☎631-0033 奈良市あやめ池南6丁目1-7 ☎0742(45)0460
※精神科は完全予約制です。

とみお診療所 受付時間 午前8:30~11:45 夜間17:00~19:15

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後		健診(予約外)				
夜診					○	

☎631-0061 奈良市三碓2丁目1-6 ☎0742(45)7480
※診察はすべて予約制です。
※当日の予約枠、急患の方の診察枠もありますのでお気軽にお電話いただくか受付にてお申し出ください。

ならやま診療所 受付時間 午前8:40~11:30 夜間17:10~19:15

	月	火	水	木	金	土
午前	△	○	△	○	△	△
夜診	○				△	

☎631-0805 奈良市右京3丁目2-2 ☎0742(71)1000
※△印についてはお問合せ下さい。

夕陽ヶ丘診療所 受付時間 午前8:30~11:45 夜間17:30~19:45

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
夜診					○	

☎636-0801 生駒郡三郷町夕陽ヶ丘1-40 ☎0745(72)9490

いこま駅前クリニック 受付時間 午前8:30~11:45 午後13:30~15:30 夜間17:00~19:15

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	予約検査	○	○(内科・精神科)	
午後			心療内科			
夜診			泌尿器科		○	

☎630-0256 生駒市本町7-10 ☎0743(71)7222 ※心療内科は予約制
※水曜午前の予約検査は胃カメラ、腹部エコー(予約制)です。

きたまちクリニック 受付時間 午前9:00~12:30 午後13:30~16:00 夜間17:30~20:00

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○		○	○	
夜診						

☎631-0817 西大寺北町4丁目4-1 ☎0742(48)8255
※きたまちクリニックは完全予約制です



ウキウキ! がんたん! クッキング

第12回 漬物のごまあえ

なつがしい家庭の味♡

こんにちは。
少しずつ春に向かいつつあるのを実感する季節ですね。

本日は、超簡単な『ごはんのお供』を紹介します!

ただの漬物だと、『おまけ』程度の扱いだけど、漬物をきざんでゴマで合えるだけで、立派な『おかず』に大変身!!

とってもまるやかで、あっさりしていて、パクパク食がすすみます♪

お手軽に野菜の摂取もできますね!



〈食器〉

・小さめのおわん

〈作り方〉

- ・好きなつけものを、3種類えらぶ
- ・それぞれ、1口大(2cmくらい)の大きさに切る
- ・3種類とも切ったら、おわんに全部入れる
- ・すりごまを、大さじ1入れる
- ・はしでまぜる

〈材料〉

- ・市販のつけもの
- ・たとえばキュウリ・カブ・白菜など
- ・すりごま(大さじ1)

〈道具〉

- ・ほうちょう
- ・まないた
- ・大さじ
- ・はし

医師をめざす高校生のみなさんへ 春休み「一日医師体験」の参加を募集します

吉田病院では、毎年、春・夏・冬の休み期間に「高校生1日医師体験」を開催しています。毎回、高校生に医療現場の見学や血圧測定、リハビリ、事務などの多職種体験、医師との懇談など貴重な経験をしてもらっています。参加者からも「医者になって社会の役に立ちたいという想いが強くなりました」などの感想が寄せられています。今回は、春休みの3月28日から4月6日の期間(月~金)で開催する予定です。日程は希望に応じて調整しますので、医学部受験、医師をめざす高校生のみならず、ぜひご参加ください。



【お問い合わせ】
吉田病院 医局事務課まで
TEL: 0742-45-4601(内線215)
FAX: 0742-45-9382
E-Mail: ikyokujimu@heiwakai.or.jp

一日看護体験 募集!

3月13日(火) 3月26日(月)
8:45~16:00 吉田病院会議室

内容: 病棟での看護体験(血圧測定、手浴、足浴など)
進路の説明、看護学生との交流会など
対象: おもに看護師をめざす高校生・社会人
※実施日の1週間前までにお申し込み下さい。



一般科・精神科病棟看護師さん 大募集!

~精神科病棟リニューアルにむけて~
地域で密着した在宅看護をしませんか?
訪問看護スタッフ同時募集 未経験者でも大丈夫です★
問合せは吉田病院看護部長室まで

笑顔 つながる認知症ケア⑤ 最終回

早期対応で生活の充実を

精神科ソーシャルワーカー 北田 最映

前回は、認知症の人の理解と接し方について書かせていただきました。今回は、2年が経ちました。みなさんに「認知症は早期発見・早期治療が大切」ということが、認知症の多くの人に届いていると思います。認知症は早期発見・早期治療が大切という意識が、病気の進行を遅らせる新薬が開発されました。このような薬は、早期に使用すると効果が出やすいと言われています。③ 進行を遅らせることによって、本人がご家族とともに、これからの人生・生活を考えることができます。また、ご家族も早い段階から、認知症の正しい知識を持つことが大切です。なぜなら、本人の問題のある行動を「これは脳の病気がよって引き起こされている」と理解し、家族だけで支えなくても介護サービスもあるという知識が適切な対応につながるからです。つまり、認知症は「はいはい」と言いつつ、受診が必要となり、しかし、中には受診を拒否する方が居られ、ご家族は「どう受診させたらよいでしょう」と悩まれる場合があります。そのような場合、ご本人と一緒に受診する人が、ご本人との間に信頼関係がある、認知症の人には、医療や介護が身近にあり、さらに地域の方々の暖かな見守りや声かけが必要だと考えています。そのためには認知症の正しい知識が不可欠です。これまでの連載が皆様の認知症の正しい知識を知るきっかけになれば幸いです。最後まで読んでいただきありがとうございます。



気仙沼市立本吉病院で現地スタッフと上野医師

東日本大震災から1年、野田内閣は「社会保障・税一体改革」大綱を閣議決定、3月末までに消費増税法案を国会提出することを狙っています。消費税率を2014年4月に8%に、さらに15年10月に10%まで引き上げ、社会保障は充実ではなく削減するという、最悪の内容です。年金支給額引き下げや、70~74歳の医療費患者負担の増額を盛り込んでいます。大規模な増額や、富裕層と大企業優遇の不公平税制見直しは糊上だけで、医療費抑制や防災軽減の「仕分け」など、構造改革の矛盾が集中した東北地方を震災が襲い、原発事故が引き起こされ、被害を拡大しました。非公的医療機関の再建から畑のヘドロの撤去まで「自己

責任」ボランティアのみという現状です。その中で、昨年12月、医師不在の気仙沼市立本吉病院に奈良民医連後期研修医の上野 暢一(29歳)が1ヶ月の支援先として、長も退職し医師不在となつてしまった気仙沼市立本吉病院です。支援期間は12月2日~1月1日の1ヶ月間。気仙沼市本吉町は宮城県東北部にあり人口1000人の町で、ライフラインは確保されつつ常生活を取り戻しつつあるものの、沿岸部は津波による壊滅的な被害を受けました。病院も1階部分が津波で水に浸かり、震災直後は2階部分で診療を行うことになった。支援の内容は、病院に泊まり込みでの外来・訪問診療、週末は健康相談や講習会と盛りだくさん。慢性疾患の定期受診、感冒症状のこまめな仮設住宅での閉じこもりやアルコール問題に対し普段の医療も含めて、病棟内外を問わず多職種で連携していくことが求められた。地域のみなさん、病院スタッフに温かく迎えてくれた。支援に入った他の医師からも多く刺激を受けた。いままでも奈良民医連で学んだ力を微力ながらも発揮できたことではと思っています。震災から9ヶ月がたち、一定日常生活を取り戻しつつある中で医療も含めて復興や再構築が進められてきました。今回の支援で感じたことは、最高の医療を提供するより地域の愛情に支えられた医療の継続に提供できる人が求められていること、また仮設住宅での閉じこもりやアルコール問題に対し普段の医療も含めて、病棟内外を問わず多職種で連携していくことが求められた。地域のみなさん、病院スタッフに温かく迎えてくれた。支援に入った他の医師からも多く刺激を受けた。いままでも奈良民医連で学んだ力を微力ながらも発揮できたことではと思っています。

PCAT・東日本大震災被災地医療支援に参加して

奈良民医連家庭医療後期研修医 上野 暢一



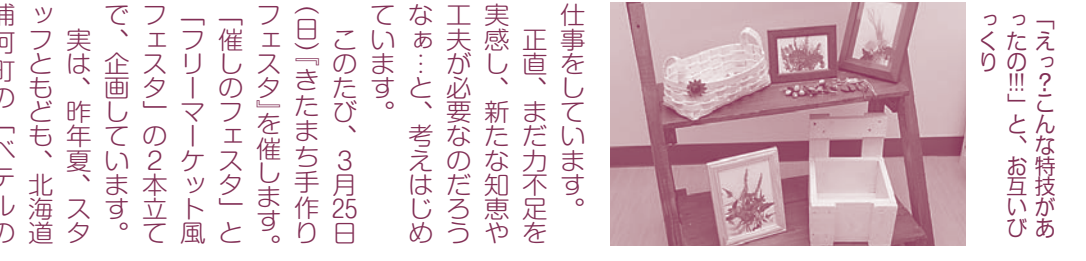
訪問診療のひとつ



きたまちクリニックは開設10年になりました。身近なところの診療所として出発し、患者さんの心と生活に目を置いて、多角的・多職種による診療を行ってきました。近年ますます複雑な状況になっています。心と生活の病士と調和する日々が、苦勞や身につまされる思いや現場ならではの喜びなど、悲喜こももしながら生きています。

キラリ☆と光る個性 きたまち手作りフェスタ開催します!

きたまちクリニック 所長 宮野 栄三



「えっ?こんな特技があるの!!!」と、お互いびっくり。正直、まだ力不足を感じ、新たな知恵や工夫が必要なのだろう。あ、と、考えはじめました。このたび、3月25日(日)きたまち手作りフェスタを開催します。「催しのフェスタ」と「フリーマーケット」風フェスタの2本立てで、企画しています。実は、昨年夏、スタッフともども、北海道浦河町の「ハテルの家」を訪ねました。妄想・幻想や種々障害を持つ当事者達が、苦勞を自分のものとしながら生きて暮らしている姿に感銘を受けました。私がマラソン中、苦しんだり止まらなくなった時、道通の人々の声援が力になりました。全く信じてはなかったですが、声援は力になるのだと身をもって実感し、自分でもびっくりしました。よければ皆さん、フェスタに来場していただき、観て聞いてほしいです。買っただけはありがたく思います。

生きる力と向きあつて 現場通信 20

「催しのフェスタ」は、リベルテのみならず、協力を得て、「当事者研究」に触れる機会を設けます。アイデアマンの手作りの「出しもの」やきたまちカフェを開きます。今回のフェスタは「当事者の力」が育つことのできる「場」や文化の作りかけになればと思いを企画しました。「催しのフェスタ」は、リベルテのみならず、協力を得て、「当事者研究」に触れる機会を設けます。アイデアマンの手作りの「出しもの」やきたまちカフェを開きます。